平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月９日

上 場 会 社 名	株式会社　ガイアックス	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3775	URL	http://www.gaiax.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表執行役社長	(氏名)上田　祐司	
問合せ先責任者	(役職名)経理部長	(氏名)太田　賀子	(TEL)03(5759)0376
四半期報告書提出予定日	平成25年８月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	1,882	△2.7	△12	―	△７	―	△11	―
24年12月期第２四半期	1,935	15.8	17	△25.0	15	△13.7	165	281.3

（注）　包括利益　25年12月期第２四半期　△11百万円(―%)　24年12月期第２四半期　165百万円(269.8%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年12月期第２四半期	△4　91	―　―
24年12月期第２四半期	68　53	68　11

当社は平成24年７月１日付にて１株につき1.3株、平成25年７月１日付にて１株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	1,618	374	22.6
24年12月期	1,704	327	17.2

（参考）　自己資本　25年12月期第２四半期　366百万円　24年12月期　293百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年12月期	―	0　00	―	0　00	0　00
25年12月期	―	0　00			
25年12月期(予想)			―	0　00	0　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	4,000	4.4	△50～50	―	△60～40	―	△70～30	―	△27　57 ～11　82

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成25年７月１日付にて１株につき100株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「１株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算出しております。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　－　社（社名）　　、除外　－　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	3,048,800株	24年12月期	3,048,800株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	510,100株	24年12月期	695,500株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	2,415,900株	24年12月期２Ｑ	2,410,000株

（注）当社は平成24年７月１日付にて１株につき1.3株、平成25年７月１日付にて１株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ４「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
（４）追加情報 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……10
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、昨年末を底に回復傾向にあり、公共投資や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要など、政策効果が集中的に景気を押し上げる見通しです。

一方、国内のインターネットビジネス市場は、2009年度の約8兆円から、2014年度には約14兆円へと、約1.8倍に増加すると予測されており（※1）、今後も、堅調に拡大していくことが見込まれます。また、スマートフォンの所有率においても、2012年の10月に39.8％となり、2011年10月の22.9％から大きく上昇し、鈍化することなく普及が拡大しています。（スマートフォン/ケータイ利用動向調査2013・株式会社インプレスR&D)

このような状況のもと、当社グループはソーシャルメディアの構築・運営・監視及びソーシャルアプリサポートのリーディングカンパニーとして、引き続き事業の拡大を図って参りました。

当第２四半期連結累計期間の業績は、主力事業でありますソーシャルサービス事業においては、ソーシャルアプリサポートサービスの海外展開を推進してきたことにより、英語圏及び韓国におけるサポートの受託が大幅に伸長し売上に貢献しております。Facebook関連アプリについてもアプリ利用件数増加とともに売上が増加しております。一方、受託開発事業については、新規案件の受注件数は増加しているものの規模が小さい案件が多く、また既存顧客の納品が次期にずれ込み、売上高が減少いたしました。この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は1,882,351千円(前年同期比2.7％減)となりました。営業損益については、新サービスの開発投資、人材育成の投資は継続的に行っておりますが、「Co－Work」の開発コストが減少したため、△12,873千円(前年同期は17,190千円の利益)の損失となりました。経常損益は、為替差益及び未払配当金除斥益により△7,391千円(前年同期は15,586千円の利益)の損失となり、四半期純損益は△11,872千円(前年同期は165,179千円の利益)の損失となりました。

出所 ※1　株式会社野村総合研究所

（ソーシャルサービス事業）

≪法人向けソーシャルメディア活性化サービス≫

Facebookに代表されるソーシャルネットワークやTwitterに代表される（マイクロ）ブログなど、企業によるソーシャルメディア活用のための企画提案・アプリケーション開発や、ガイアックスソーシャルメディアラボによるソーシャルメディアの啓蒙活動などを実施

≪法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス≫

同ソーシャルメディアを企業が運営する上で、24時間体制での運営サポートや投稿監視サービスなどを、日本語及び英語を中心とした多言語にて提供

≪教育機関向けソーシャルリテラシーサービス≫

学校裏サイトの監視やネットいじめ対策コンサルティングである「スクールガーディアン」や、若い世代の前向きなソーシャルメディア活用を推進するネットリテラシー講座などを提供

≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫

ソーシャルゲームに対するユーザー様からの問い合わせなどにつき、対応代行を24時間・多言語体制で行う「ソーシャルアプリサポート」を提供

≪法人向けソーシャルネットワークサービス≫

企業の社内コミュニケーションを有機的に活性化していくクラウド型社内SNS「エアリー」などを提供

≪デジタルコンテンツサービス≫

モバイル／スマホ向けコンテンツ配信「モバリスト」などを提供

当第２四半期連結累計期間におきましては、昨年度に引き続き≪法人向けソーシャルメディア運用・監視サービス≫及び≪ソーシャルゲーム向けユーザーサポートサービス≫の売上が順当に増加しております。ソーシャルアプリ・スマートフォンアプリ向けユーザーサポートは、ソフトバンクテレコムとの業務提携により、中国語・韓国語対応による電話でのカスタマーサポートサービスを提供、ネット上での誹謗中傷対策を行う投稿モニタリングも、自民党参議院議員候補者向けに提供するなど、サービス普及に尽力して参りました。

この結果、売上高については、1,215,046千円(前年同期比15.2%増)となり、営業損益は、77,075千円(前年同期比58.0%増)の利益となりました。

(受託開発事業)

受託開発事業におきましては、子会社の株式会社電縁が主力事業としております。当第２四半期連結累計期間の業績は、既存顧客からの新規受託開発案件数は増加しているものの、受注規模が小さい案件が多く、また納期のずれ込みも重なり売上が想定より落ち込みました。その結果売上高は、689,507千円（前年同期比23.9%減）となりました。営業損益については、売上高の落ち込みの影響により、デジタルサイネージや新規コンサルティング事業、新規自社開発などの先行投資費用がカバーしきれず△12,012千円(前年同期は47,737千円の利益)の営業損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、1,379,574千円となりました。これは、主に現金及び預金が87,134千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、239,200千円となりました。これは、無形固定資産が5,044千円、長期貸付金が8,644千円減少したこと及び長期預金が7,980千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、1,618,774千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、818,643千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が28,695千円、短期借入金が35,000千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.5%減少し、425,710千円となりました。これは、主に社債が20,500千円、長期借入金が45,775千円減少したことよるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、1,244,353千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14.4%増加し、374,421千円となりました。これは、ストックオプションの行使に伴い資本剰余金が30,249千円増加したこと及びストックオプションの行使に伴う自己株式の処分により自己株式が53,808千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、平成25年８月５日において平成25年２月15日に公表した平成25年12月期第２四半期連結業績予想を修正いたしました。弊社グループを取り巻くインターネットビジネス市場は、SNSやブログなどのソーシャルメディアやMobageやGREEに代表されるソーシャルゲームの勢いに見られるように成長傾向が続いております。

今後の見通しにつきましては、引き続き海外展開の拡充、新サービスの開発、人材採用等積極的に投資を図って参る予定であり、現時点においては、平成25年２月15日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

ライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）による新株予約権の発行について

当社は平成25年６月14日開催の取締役会において、以下の通り当社以外の全株主を対象としたライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）を行うことを決議し、平成25年７月11日を株主確定日として新株予約権を発行いたしました。

①新株予約権の名称	株式会社ガイアックス　第14回新株予約権 （以下、本新株予約権という）
②新株予約権の割当ての方法	平成25年７月11日を基準日とし、当該基準日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対して、その有する当社普通株式１株につき１個の割合で本新株予約権を無償で割り当てる方法（会社法第277条）
③新株予約権の総数	2,556,816個
④発行価格	無償
⑤新株予約権無償割当ての効力発生日	平成25年７月12日
⑥新株予約権の目的となる株式の種類及び数	本新株予約権１個あたり、当社普通株式１株
⑦新株予約権の行使に際して出資される財産の価額（行使価額）	１株（１個）につき　600円
⑧新株予約権の行使によって株式を発行する場合における資本組入額	１株（１個）につき　300円
⑨新株予約権の権利行使期間	平成25年８月19日から平成25年９月10日まで
⑩新株予約権の上場	本新株予約権は名古屋証券取引所（セントレックス）へ上場しており、市場での売買取引が可能 上　場　日：平成25年７月12日 売買最終日：平成25年９月３日（予定） 上場廃止日：平成25年９月４日（予定）
⑪資金使途	１.既存事業の海外展開に伴う一般管理費及び関係会社への投融資 ２.公職選挙法改正に伴うネット選挙支援事業の事業化に伴う一般管理費 ３.M&A、投資に係る資金 ４.有利子負債の返済・財務体質の改善に係る資金

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,019,829	932,694
受取手形及び売掛金	363,901	370,923
仕掛品	12,928	36,599
その他	62,758	42,704
貸倒引当金	△3,902	△3,347
流動資産合計	1,455,515	1,379,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,588	37,406
工具、器具及び備品（純額）	27,590	25,668
有形固定資産合計	65,178	63,074
無形固定資産		
ソフトウエア	7,885	6,020
のれん	15,895	12,716
その他	145	145
無形固定資産合計	23,926	18,882
投資その他の資産		
投資有価証券	24,562	26,400
長期預金	19,050	27,030
長期貸付金	29,665	21,020
敷金及び保証金	75,748	76,096
その他	22,709	24,323
貸倒引当金	△12,137	△17,628
投資その他の資産合計	159,599	157,243
固定資産合計	248,705	239,200
資産合計	1,704,220	1,618,774

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,974	107,279
短期借入金	165,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	182,464	167,360
1年内償還予定の社債	41,000	41,000
未払費用	147,747	145,820
預り金	27,832	31,088
未払法人税等	5,213	3,880
賞与引当金	－	28,436
その他	179,631	163,778
流動負債合計	884,863	818,643
固定負債		
社債	110,000	89,500
長期借入金	349,585	303,810
その他	32,400	32,400
固定負債合計	491,985	425,710
負債合計	1,376,848	1,244,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	377,540	407,790
利益剰余金	17,383	5,510
自己株式	△201,863	△148,054
株主資本合計	293,061	365,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	527
為替換算調整勘定	394	435
その他の包括利益累計額合計	405	962
新株予約権	33,904	8,195
少数株主持分	－	16
純資産合計	327,371	374,421
負債純資産合計	1,704,220	1,618,774

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,935,222	1,882,351
売上原価	1,259,468	1,163,662
売上総利益	675,753	718,688
販売費及び一般管理費合計	658,563	731,561
営業利益又は営業損失（△）	17,190	△12,873
営業外収益		
受取利息	678	480
助成金収入	9,461	300
為替差益	868	3,484
持分法による投資利益	－	999
未払配当金除斥益	－	4,690
その他	2,053	1,123
営業外収益合計	13,062	11,076
営業外費用		
支払利息	5,707	4,505
支払保証料	317	327
貸倒引当金繰入額	73	560
持分法による投資損失	8,367	－
その他	201	201
営業外費用合計	14,665	5,594
経常利益又は経常損失（△）	15,586	△7,391
特別利益		
投資有価証券売却益	88,745	－
持分変動利益	51,823	－
新株予約権戻入益	15,470	241
特別利益合計	156,039	241
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	171,626	△7,149
法人税、住民税及び事業税	6,446	4,708
法人税等合計	6,446	4,708
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	165,179	△11,857
少数株主利益	－	15
四半期純利益又は四半期純損失（△）	165,179	△11,872

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	165,179	△11,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	516
為替換算調整勘定	△46	41
その他の包括利益合計	104	557
四半期包括利益	165,284	△11,299
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,284	△11,315
少数株主に係る四半期包括利益	－	16

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

ストックオプションの行使による自己株式の処分等に伴い、当第２四半期連結累計期間において新株予約権が25,708千円、自己株式が53,808千円減少し、資本剰余金が30,249千円増加しております。この結果、当第２四半期連結累計期間末において新株予約権は8,195千円、自己株式は148,054千円、資本剰余金407,790千円となっています。